とよおかし 議会だより

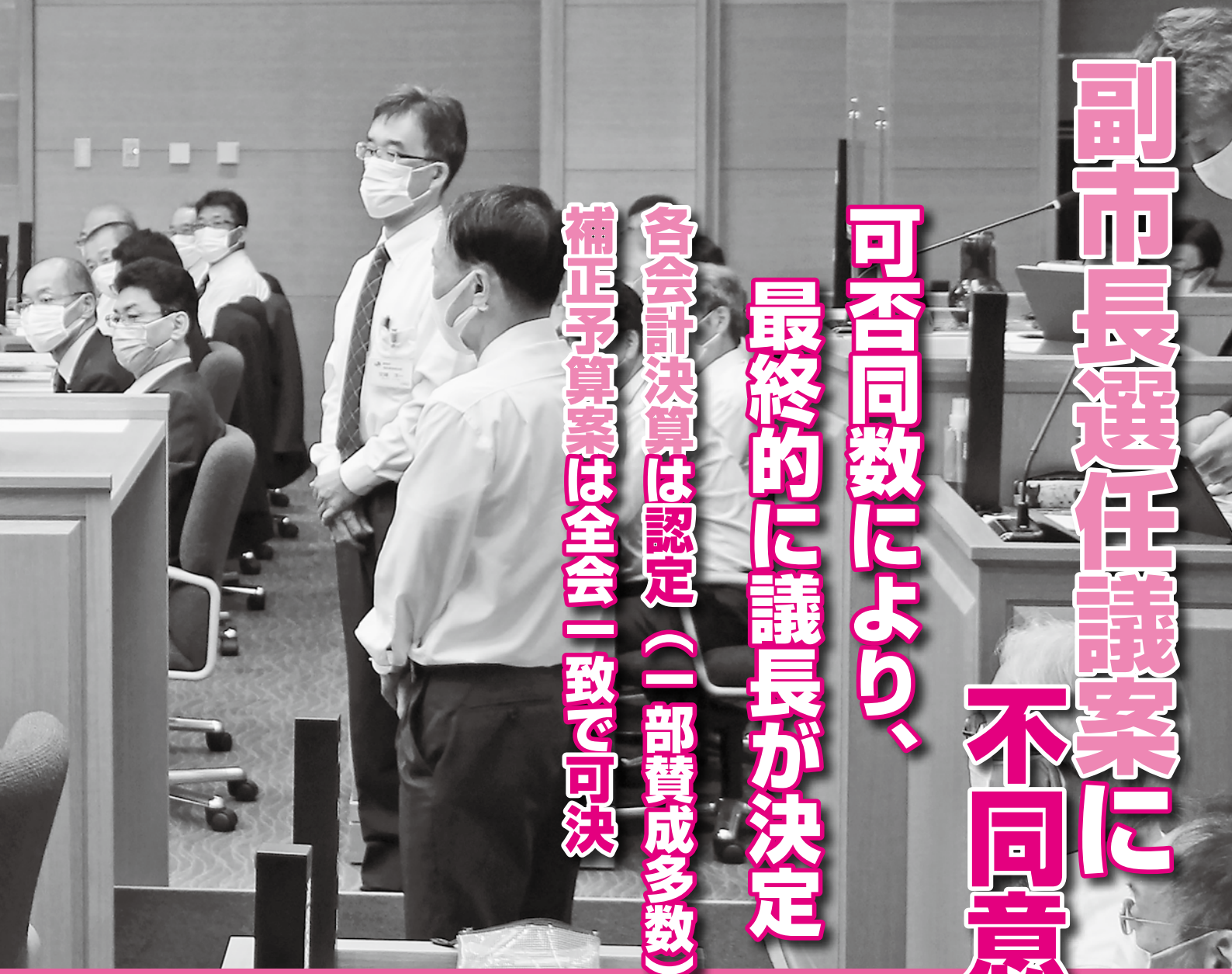
第83号
2021年11月発行

豊岡南中学校吹奏楽部の演奏（10月2日開催「豊岡ブラスフェスタ2021」）

もくじ

9月定例会の報告 …… 2～5
一般質問に20人 …… 6～16
陳情・6月定例会の委員会意見と当局回答 …… 17
委員会懇談会・視察報告 …… 18～19
12月定例会のお知らせ・編集後記 …… 20

編集／議会広報広聴特別委員会　発行／豊岡市議会
〒668-8666 豊岡市中央町2-4　TEL 0796-23-1119　FAX 0796-24-8041
URL http://www.city.toyooka.lg.jp　E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp



副市長選任議案に不同意

可否同数により、最終的に議長が決定

各会計決算は認定（一部賛成多数）
補正予算案は全会一致で可決

令和２年度決算をはじめ、報告、過疎計画や辺地計画の策定、協定の一部変更、条例改正、補正予算、工事請負契約、市道認定、副市長および固定資産評価委員の選任、陳情などを審議しました。
主な議案の審議状況をお知らせします。

ホームページでも議会の情報をご覧いただけます。豊岡市議会　検索　ポチッ

議案に対する意見・要望

●報告

損害賠償の額を定めること

市職員が公用車を運転中、運転操作を誤り、道路沿いに設置されたスノーポールに衝突、損傷させたもの。

＜文教民生委員会の意見・要望＞

該当職員は、前日避難所開設の災害対策業務に従事しており、過労による注意力減退が原因と考えられる。災害対策時にあっては、過労による事故等が起こらないよう留意されたい。

●事件案件

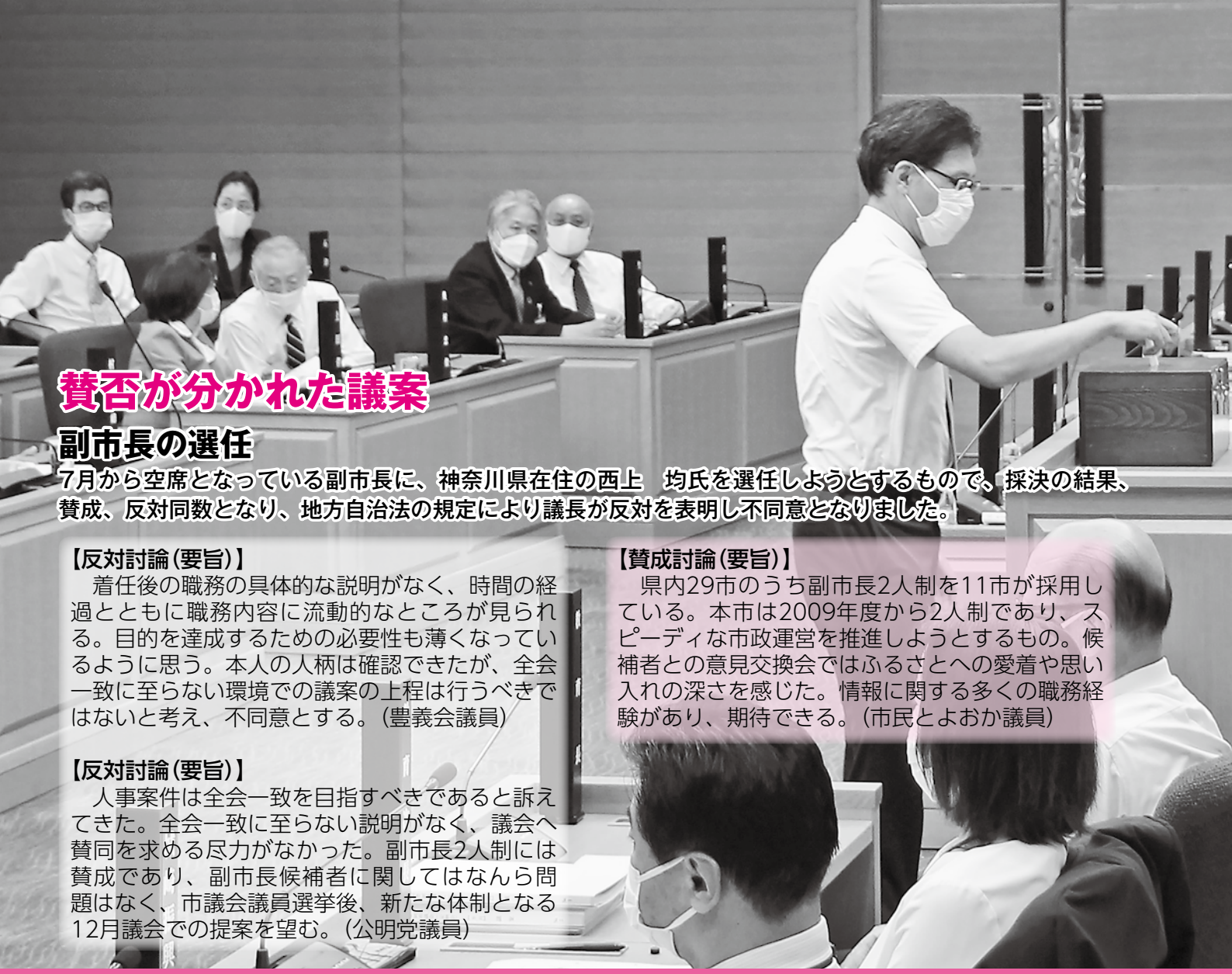
市道路線の認定

土地区画整理事業完了に伴い、９路線を新たに市道認定するもの。

※　議案提出後に路線名の誤りが判明し、本会議最終日に議案訂正の承認がなされた。

＜建設経済委員会の意見・要望＞

議案提出後に路線名の誤りが判明したが、二度とこのようなことが起きないよう、内部チェックを十分に行い、再発防止に努められたい。



賛否が分かれた議案

副市長の選任

7月から空席となっている副市長に、神奈川県在住の西上　均氏を選任しようとするもので、採決の結果、賛成、反対同数となり、地方自治法の規定により議長が反対を表明し不同意となりました。

【反対討論（要旨）】
　着任後の職務の具体的な説明がなく、時間の経過とともに職務内容に流動的なところが見られる。目的を達成するための必要性も薄くなっているように思う。本人の人柄は確認できたが、全会一致に至らない環境での議案の上程は行うべきではないと考え、不同意とする。（豊義会議員）

【反対討論（要旨）】
　人事案件は全会一致を目指すべきであると訴えてきた。全会一致に至らない説明がなく、議会へ賛同を求める尽力がなかった。副市長2人制には賛成であり、副市長候補者に関してはなんら問題はなく、市議会議員選挙後、新たな体制となる12月議会での提案を望む。（公明党議員）

【賛成討論（要旨）】
　県内29市のうち副市長2人制を11市が採用している。本市は2009年度から2人制であり、スピーディな市政運営を推進しようとするもの。候補者との意見交換会ではふるさとへの愛着や思い入れの深さを感じた。情報に関する多くの職務経験があり、期待できる。（市民とよおか議員）

9月定例会　議案審議

9月3日～10月4日（32日間）

＜令和３年９月定例会＞　意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否をお知らせします。掲載のない議案は全会一致で可決されました。
賛成は「○」、反対は「×」、棄権・除斥等は「―」、議長は採決に加わらないので「／」、欠席は「欠」で表示しています。

会派名	豊義会								市民とよおか							日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団			ひかり		豊岡市議会公明党		豊岡維新の会	審議結果
議案名等＼議員名	浅田徹	上田倫久	岡本昭治	木谷敏勝	嶋﨑宏之	芹澤正志	椿野仁司	米田達也	伊藤仁	井上正治	清水寛	田中藤一郎	土生田仁志	福田嗣久	松井正志	上田伴子	奥村忠俊	村岡峰男	青山憲司	足田仁司	西田真	芦田竹彦	竹中理	石津一美	
第106号議案　令和2年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	○	○	○	認定
第119号議案　副市長の選任につき同意を求めることについて	【無記名投票】　賛成＝11名、反対＝11名、欠席＝1名（可否同数のため、議長が決定）																								不同意
議報第3号　陳情第1号　健康福祉センターと条例に関する陳情書	○	○	○	○	／	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	欠	○	○	○	○	警戒採択

令和2年度“決算”

年収360万円のわが市の家計簿

～新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けています～

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度一般会計決算額は歳入が約593億4千万円、歳出が約576億4千万円で、過去最大の規模となりました。

歳入歳出差引額は約17億円（うち繰越すべき財源は約5億3千万円）です。

これを年収360万円（月額30万円）の家計に例えてみました。

収入は「親からの仕送り（国庫支出金、県支出金）」が4万4千円増加し9万3千円に、支出は一人当たり10万円を支給した特別定額給付金などが影響し「光熱費などの生活費（物件費、補助費等）」が3万7千円増加して12万2千円になっており、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が色濃く表れています。

収　入

区分／市の歳入科目	2019年度	増減	2020年度
給　料	20万1千円 (66.8%)	↘	16万7千円 (55.7%)
うち基本給 市税、分担金・負担金、使用料・手数料、諸収入	7万9千円	↘	6万6千円
うち諸手当、ボーナス 地方交付税（※1）、地方譲与税、各種交付金	12万2千円	↘	10万1千円
親からの仕送り 国庫支出金、県支出金	4万9千円 (16.4%)	↗	9万3千円 (31.1%)
事業収入 財産収入、寄附金	6千円 (2.0%)	→	6千円 (1.9%)
預貯金の取り崩し 基金繰入金	1万円 (3.2%)	↘	8千円 (2.6%)
前年の残金 繰越金	1万2千円 (4.2%)	↘	8千円 (2.6%)
借　金 市債	2万2千円 (7.4%)	↘	1万8千円 (6.1%)
合　計	30万円 (100.0%)		30万円 (100.0%)

支　出

区分／市の歳出科目	2019年度	増減	2020年度
食費 人件費	4万7千円 (15.6%)	↘	3万9千円 (13.0%)
光熱費などの生活費 物件費、補助費等	8万5千円 (28.2%)	↗	12万2千円 (40.7%)
家族の医療費 扶助費	4万3千円 (14.4%)	↘	3万7千円 (12.3%)
車や家具の修理費 維持補修費	2千円 (0.6%)	↘	1千円 (0.3%)
子どもたちへの仕送り 他会計繰出金	2万2千円 (7.3%)	↘	1万9千円 (6.3%)
家の増改築など 投資的経費	4万円 (13.3%)	↘	2万8千円 (9.3%)
貯金など 積立金、貸付金、出資金等	1万1千円 (3.7%)	→	1万1千円 (3.7%)
借金返済 公債費	4万1千円 (13.8%)	↘	3万5千円 (11.7%)
手持ち額（※2） 繰越財源	9千円 (3.1%)	↘	8千円 (2.7%)
合　計	30万円 (100.0%)		30万円 (100.0%)

（※1）
地方交付税は市の決算額の約29％を占める依存財源ですが、その目的は、税収の多い自治体と少ない自治体間の財源調整などのために、いったん国が集めた税を地方自治体に再配分しているものです。
そこで、本来的に地方自治体の収入と言えることから、ここでは「給料（諸手当、期末手当）」に区分しています。

（※2）
毎月の収入額と支出額の差8,000円は、厳しい財政状況の中にあっても、やりくりをして支出額を抑え、次年度以降のために現金を手元に保管している状態を示しています。
実際の決算では、これらが繰越金の原資となります。

本会議での反対・賛成討論

令和２年度 一般会計決算認定

予算決算委員会の意見・要望

一般会計決算

子どもの貧困対策では、市独自の相対的貧困率等により対策が進んできたので、事業効果を検証するなど、より効果的な事業となるよう取り組まれたい。

生涯学習サロンを整備するため多額の経費をかけたにもかかわらず、別の場所にオープンすることとなった。厳しい財政状況であり、今後十分留意されたい。

新文化会館整備事業について、現市民会館の老朽化等を踏まえ、今後の事業の進め方を早期に決定されたい。

アイティ4階は多額の経費をかけて整備するので、十分な活用が進む施設を目指すとともに、今後、市負担の増加を招くことのないよう取り組まれたい。

一般会計補正予算（第11号）

アイティ4階子育て支援等施設の整備費はできるだけ節減されたい。ふるさと納税は不安定であり、もっと精度の高い財源が必要である。今後の管理では、指定管理者と市の責任が曖昧にならないよう努められたい。

建設経済委員会の意見・要望

水道・下水道事業会計決算

水道事業及び下水道事業について、今後厳しい経営状況が予想されるため、これまで以上に、有収率の向上に努力されたい。

―市民税の超過負担―

賛　成

市民とよおか議員

令和2年度決算で財政健全化比率は問題ないとされるが、財政の脆弱化は続き、長期財政運営が危惧される。市の財政が厳しい中、市民の日々の暮らしを支え、特に下水道会計に大きく寄与している。安定的な財源確保に超過課税は適切妥当であり、認定すべきである。

反　対

共産党あおぞら議員

個人市民税は全国でも豊岡市だけ。超過課税の多くは下水道借金の償還に活用しているようだが、下水道料金で償還することが本来の姿であり、超過課税は二重負担ではないか。税を集める側の論理のみでなく、市民の暮らしの実態や負担する立場を理解することを願う。

―空港利用補助金―

賛　成

豊義会議員

兵庫県が多大な費用をかけて但馬地域に空港を整備した。但馬の夢、未来の子どもたちのためにもこの空港をなくしてはいけない。そういう思いから地域をあげて利用を支援している。支援し続けることが東京直行便実現の夢につながると思うので、決算認定に賛成する。

反　対

共産党あおぞら議員

新型コロナ感染症による利用客の大幅な減少で、補助金は大きく減っているが、公共交通、特にバス路線をはじめ、すべての市民の基本的な足を確保するための支援が重要である。空港利用助成の全廃を求めるのでなく、補助率の見直しを含む検討を求めるものである。

―アイティ４階の買収―

反　対

共産党あおぞら議員

さとうが撤退すると、豊岡の玄関口がさびれてしまうとして、アイティ４階の買収が決まった。このことが今後の豊岡にとって、まさに負の遺産となりつつあることは、豊岡市の財政上にも、また豊岡の経済や商業にとって、大きな懸念材料となることを表明しておく。

9月定例会

一般質問に20人

※ここに掲載する質問・答弁は、9月13日～16日のものです。内容については、昨今の社会情勢・対応策等、日々状況が変わってきています。

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

井上正治（7ページ）
- 市長の市政推進
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 市民の安心・安全な暮らし
- 地域の課題

伊藤仁（7ページ）
- 災害に強いまちづくり
- 子育て支援総合拠点等整備
- 公共施設マネジメント計画
- 職員の労務管理

木谷敏勝（8ページ）
- コロナ感染症対策
- 危機管理体制
- 豊岡市立健康福祉センター
- アイティの取り組み
- 新文化会館整備
- 市政推進

上田伴子（8ページ）
- 教育行政
- 豊岡健康福祉センター
- こども医療費
- 奈佐小の統合後
- 鳥獣被害対策

芹澤正志（9ページ）
- 芸術文化観光専門職大学
- 地域コミュニティ
- ボートのまちづくり
- 観光戦略
- 災害情報

西田真（9ページ）
- 新型コロナウイルス関連
- 市街地活性化
- 選挙の投票率向上
- マイナンバーカード
- 障害者スポーツの普及促進
- 交通安全対策
- 防災・減災

青山憲司（10ページ）
- 市政経営方針の策定
- 豊岡健康福祉センター
- 新文化会館整備事業
- 子育て支援事業等
- 水道料金の見直し
- 第4次交通安全計画

米田達也（10ページ）
- 地域間の道路改良
- 危機管理、情報発信
- 市のコロナ対策

清水寛（11ページ）
- 行政サービスの広域化と実施主体
- 当初予算執行への考え方

芦田竹彦（11ページ）
- コロナ対策
- 防災・減災対策
- 子育て支援
- 新文化会館整備事業
- 貧困問題
- 市民相談

田中藤一郎（12ページ）
- 豊岡市財政と施策のあり方
- コロナ禍での教育と今後の教育
- コロナ禍での経済政策と今後の経済政策

足田仁司（12ページ）
- 土地・建物の処分
- 道徳教育とLGBT（ジェンダーギャップ）

福田嗣久（13ページ）
- 都市計画区域指定に伴う実態
- コロナ禍での業者支援のあり方
- アイティ4階子育て支援総合拠点等整備
- 水道、下水道料金

浅田徹（13ページ）
- 新型コロナウイルス感染症対策と対応
- 令和2年度決算から見た新施政方針の考え方
- 災害対策の促進
- 新田・中筋・神美地区の幼児教育・保育の再編及び統合計画に係る交通安全対策の推進
- 新文化会館整備の促進

岡本昭治（14ページ）
- 中筋・加陽地区における内水対策
- 豊岡市における文化財の保護と活用
- 地域コミュニティの指定管理者制度への移行
- 市長総括説明から

村岡峰男（14ページ）
- コロナ対策
- 20年度決算
- 農林行政
- 公共交通政策

上田倫久（15ページ）
- 豊岡市市政経営方針
- 4つの危機
- 医療・福祉
- 教育
- 但馬・豊岡の道路網
- 地域防災・防犯対策

椿野仁司（15ページ）
- 市長総括説明から
- 副市長
- 豊岡の未来
- 議会だよりから

奥村忠俊（16ページ）
- 非核宣言と平和問題
- 災害防止
- 地域デザイン懇談会

竹中理（16ページ）
- コロナワクチン接種
- 市長総括説明から
- エッセンシャルワーカー

市議会の本会議がインターネットでご覧になれます！

インターネットにより、定例会のようすをライブ中継と録画中継で映像配信しています。ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継　検索

スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!

写真下の**二次元バーコード**で
質問の録画映像をご覧いただけます

市長の市政推進と意気込み

答 主人公は市民、心地よい安心なまちを目指す

「主人公は市民」聞く施策の推進を

問 豊岡健康福祉センターは、除却が望ましく今後検討を重ね判断するとされる。判断の時期と何を重要視するか。2015年度実施の耐震化補強事業の財源状況はどうか

答 これまでの方向性や使用団体との懇談会を踏まえ、総合的に検討し、使用許可団体に支障がないよう年内に当面の方向性を判断したい。

耐震補強事業費は1億86万7千円、2020年度末地方債残高6千202万円。

問 新しい豊岡市健康福祉センター施設として整備し、市内全体の福祉関係の拠点施設としての新設も一考する必要はある。必要なものは守る対策の推進はどうか

答 福祉活動は極めて重要な活動であり、活動が継続できるようその機能をどう維持していくかが大切だ。一方、役割、維持費、公平性の課題や新文化会館整備を契機としての有利性など総合的に検討し適切に判断する。

問 9月30日までの緊急事態発出におけるコロナ感染予防対策はどうか

答 県では人流抑制・クラスター対策、ワクチンの積極的な接種の3点、市ではマスクの着用、手指消毒、3密の回避、感染拡大地域との往来自粛が最大の対策だ。

問 市が目標とするワクチン接種終了予定日は

答 11月末に接種完了予定。10月中に希望する全ての方に1回目の接種を終える必要がある。

問 国県市道の舗装劣化、消えた道路区画線の改修管理はどうか

答 舗装修繕は舗装修繕計画を策定し計画的に修繕。幹線道路以外の舗装修繕、区画線引き直しは地元要望、緊急度を考慮。

井上　正治 議員
市民とよおか

議員のひとこと
市内に拠点施設となる福祉センターの新設を

長期見通しが示されていない！

答 維持管理費に係る総額は算出してない

問 昨年9月議会では議決に至らず、10月の臨時議会では僅差で結論を出された案件であり慌てた計画となり、ずさんな予算提出の結果だと言わざるを得ない。実施設計では2億2188万円と、7500万円の増額となり事業費は1・5倍に膨らんでいる。当初予算内では目的を達成できないのか

答 建築、機械設備、電気等、必要な工事費であるため、当初予算の工事費の範囲内では施設に必要な機能の整備は不可能な状況である。このため、財源を措置した上で、必要な補正予算を今議会に提出している。なお、工事費の縮減を図るため、整備の工法や部材の変更等について、引き続き設計事業者と調整を図っている。

問 長期見通しが全く示されていない。10年、20年と維持するためには総額いくらのお金が必要なのか

答 施設の運営及び維持管理に関する費用については、管理費、駐車場代及び施設負担金等の固定的経費と、指定管理料及び直営施設の維持管理料等の運営経費が必要となり、現段階での試算額は年間約6100万円を見込んでいる。また、将来的にはアイティ自体の大規模修繕や、子育て支援総合拠点等の大規模修繕が必要になることは想定しているが、維持管理に係る総額は算出していない。

問 指定管理料約1400万円見込んでいるが見込む収入が得られない場合でも契約金額は変えないと理解すればよいのか

答 指定管理料については、限度額ということで、債務負担行為をお願いして設定し、毎年見直しをかけていきたい。

伊藤　仁 議員
市民とよおか

市民負担が増すアイティ

このページは質問者の責任において作成したものです。

写真下の**二次元バーコード**で
質問の録画映像をご覧いただけます

先頭に立って旗振る姿を！

木谷　敏勝 議員
豊義会

答 必要なときには先頭に立つ

問 市長の顔が見えない、先頭に立って旗を振る姿を見せて欲しいとの市民の声を聞くが

答 重要性などに応じてふさわしい部署の役職の職員が市民に訴え説明し、安心感を与えられる組織に市役所をつくっていきたい。派手さ、露出度が少なくとも「主人公は市民」と感じていただける市政を粛々と進めることで、市民の方々の安心感は生まれてくると信じている。必要なときは自分が先頭に立ち、市民に訴え、理解を求めることは当然である。

しっかりと前に進みましょう

問 災害対策本部のトップは市長か

答 市長であることに間違いない。

問 危機管理の時は、「市長自らが先頭に立って旗を振る姿が欲しい」という市民の声を届けたい

答 危機管理に関して対策本部というのが設置されたならば、もちろんそこには私が先頭に立って内容をまとめていくということはあるかと思う。

問 総括説明の中で、あえて「私は」と前提した上で、所信を述べたことに違和感を覚えた。市長をトップとする行政全体の総意だと理解している。その真意を伺う

答 新文化会館の整備について総括説明で「私は」という文言は文脈に主語をつけたというぐらいのことである。

議員のひとこと

豊岡市内の時間がずっと止まっているように感じる。既存の計画や行革などの方針に基づいて、スピード感をもって事業の方向性を決断し着実に進めていくことが重要であると考えている。

中3までのこども医療費無料化を

上田　伴子 議員
日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団

答 財源を抽出することが確実になれば実行する

問 2022年度から3歳以下のこども医療費が無料化になることは、子育て世帯に歓迎される。さらに中学3年生までの無料化について、今後の予定はどうか

答 4歳児以降の無料化については、財源を確実にするためにも綿密な計画がいる。来年度の予算編成の中で検討を進めている。

多くで無料化実施、高校卒業まで無料の町も

豊岡健康福祉センターの継続使用を

問 市民会館と同時除却するのが望ましいが、今後検討を重ね、最終的な判断をするとのことだが、どういう方向性か

答 利用団体との懇談において、継続して使用したいとの意向である。契約行為ではないので、合意という手続きにはならない。現市民会館と同時除却をするということになれば、2026年まで指定管理期間の延長が可能である。

問 継続利用の希望について、期間的にはどうか

答 公共施設として維持できるかどうかが議論できていない。行政財産ではないので、未来永劫にわたって使用を認めるとはならない。

問 利用団体の納得が得られる方法でセンターの存続も含めて議論していただきたいがどうか

答 社協が移転してきてできた福祉コミュニティを、市が維持しつづけられるかどうか、議論を尽くしていかなければならない。

めぐみ幼とひかり幼は公立で整備を！

問 公立の幼稚園をこども園に整備する際は、公立で整備し、市としての責任を果たすべきだがどうか

答 国・県の交付金が交付される私立園の方が優位性がある。

地域と行政の協働とは？

問 市の運営施策全ての考え方の基礎となる地域コミュニティだが、公共施設マネジメントや、人口減少、少子高齢化、福祉、防災、教育など、地域と行政が一体となって協力すべき協働へ向けた取り組みの内容は

答 実際に地域に足を運んで支援を行っている

市では、２０１９年に策定した豊岡市地域コミュニティビジョンを実現するために、市の行動計画となるアクションプランを策定して、持続可能な住民自治運営を地域と行政が協働で進めていくことを目指している。具体的には、地区が目指す姿や将来像の実現に向けて、課題や資源を整理し、基本理念や具体的な活動等を定める地域づくり計画の策定が重要なことから、担当職員と中間支援組織が連携して、実際に地区に足を運んで計画策定の意義、策定方法等の情報提供やワークショップ運営等の技術的支援を行っている。地域づくり計画は、概ね２０２３年度までの策定を目指している。この他には、定期的な連絡会や、市民リーダー養成講座、デジタル勉強会等の人材育成、各種相談に対するアドバイスなどを行っている。

芹澤　正志 議員
豊義会

命を守る大切な情報を聴き逃さず

問 防災行政無線から、日頃多くの情報を提供しているが、直接自分に関係ない事柄や興味のないことは煩わしく思い、ボリュームを最小限、または電源を切っている方もいる。災害時の避難など、命に関わる事態の放送は、絶対に聞いていただける工夫が必要だがどうか

答 今後、市の広報等で防災行政無線の利用方法の周知を再度行いたいと考えている。

議員のひとこと
老若男女、地域コミュニティだから話せる切実な悩み事があります。聴いてあげましょう!

8割以上のワクチン接種を早急に

答 市医師会や豊岡病院の協力の下で実施する

集団免疫

問 感染拡大防止のため、集団免疫ができるとされる8割以上の新型コロナワクチン接種率を早急に目指す必要がある。また、病気などで接種できない人もいるが、接種率を上げる対策はどうか

答 予約開始日の周知、早期接種の呼びかけを、防災行政無線、市ホームページでお知らせするのは勿論のこと、寝たきりで移動が困難な方への訪問接種についても、市医師会や豊岡病院のご協力の下で実施している。

ワクチン接種で集団免疫を

市街地活性化

問 豊岡市営市役所北駐車場の時間制限の解除について。外出自粛や時短・休業要請などで打撃を受けている飲食業の支援のためにも、時間制限の解除、有料開放が有効だと思うがどうか

答 豊岡駅通商店街振興組合からの要望もある。北駐車場が経済活動の側面的支援の役割も十分あると認識しているが、過去に周辺住民の方々との調整により、騒音の関係から夜間利用は10時までと決定した経緯がある。今までどおり午後10時までの利用とさせていただきたい。

議員のひとこと
市役所新庁舎は完成してから8年経過しており、再検討も必要である。

障害者スポーツ

問 東京パラリンピックでの日本選手の活躍は素晴らしく感動的だった。障害者スポーツの普及促進のために、障害者スポーツ指導員の養成が不可欠であると思うがどうか

答 スポーツ推進員の中から、公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会が主催する障害者スポーツ指導員養成講習会への参加を促している。

西田　真 議員
ひかり

このページは質問者の責任において作成したものです。

写真下の**二次元バーコード**で
質問の録画映像をご覧いただけます

市政に対する新市長の心構えは

答 **市民の共感を得る市政運営を目指す**

青山　憲司 議員
ひかり

市政経営方針

問 未来志向の「深さを持った演劇のまち」と現実志向の「主人公は市民」の両立を目指す市政が望ましいと考えるがどうか

答 両立を目指すべきと考える。演劇は悪くない。改善していけばよい。

問 存続するのか、しないのかその判断基準は

答 新文化会館事業を進めると除却が必然となる。

問 センターを整備して残すか、移転するか、新しい拠点を整備するかの選択肢ではないか

答 現段階で法的制限を関係機関に問い合わせしている。その結果を一日も早く出したい。

豊岡健康福祉センター

新文化会館整備事業予算の否決に利用された福祉活動の拠点

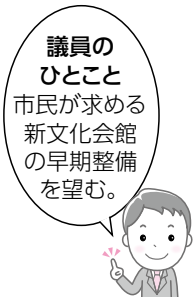
新文化会館整備事業

問 事業の必要性の認識と事業を進める判断基準、条件はどうか

答 都市機能として必要不可欠な施設だ。内容を精査し検討している。年内に方向性を出したい。

問 市長は、総括説明で「新文化会館と豊岡健康福祉センターは別の事柄だ」とした。議員だった3月議会では関連付けて新年度予算に自ら反対討論をして削除した。方針転換の理由は何か

答 事業がリンクしていないと理解したまでだ。



こども医療費無料化

問 選挙公約であった医療費無料化の4歳から中学生、高校生までの行程の方針はどうか

答 中学3年生、高校生までの対象拡大は財政状況等を勘案しながら検討する。

地域間道路改良の方向性は

答 **順次通行しやすい道路としていくことが必要**

米田　達也 議員
豊義会

問 城崎～竹野線の鋳物師戻峠、日高～竹野線の青山峠。この2路線の生活道路、観光産業道路、防災道路、それぞれの観点から見て今後、整備の必要性をどう考えるか

答 鋳物師戻峠は、城崎大橋の架け替えから切れ目のない工事着手を要望し、山陰近畿自動車道、城崎大橋、桃島バイパスの進捗状況を見ながら、適切なタイミングでの事業推進を県に要望していく。床瀬神鍋高原線の青山峠については既に全線で2車線が確保されており、市としても早急な改築は必要ないと考える。

危機管理、情報発信

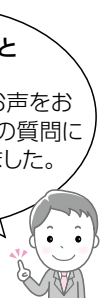
問 市長自ら、コロナ対応、災害時など市民の不安を解消すべく直接語りかける必要性についてどう考えるか

答 今後、万一切迫した状況や危機的状況に直面した場合には、市のトップとして直接語りかける。有益、有用な情報には間違いないので、誰が言おうとよく聞いていただきたい。

コロナ対策

問 ワクチン接種の予約方法（特に高齢者）に大きな課題があるように感じた。3度目接種の可能性を耳にするが改善する必要についてどうか

答 電話がつながりにくかったこと、ネットでの予約方法が分かりにくかった反省点がある。3度目接種が行われるならば十分に反省をふまえ、スムーズに行えるよう取り組みたい。



抽出日　9月8日

	対象者（人）	1回目 接種者数（人）	1回目 接種率（%）	2回目 接種者数（人）	2回目 接種率（%）
全体	72,681	45,682	62.9	35,657	49.1
65歳以上	28,142	25,644	91.1	25,157	89.4
60歳～64歳	5,216	4,543	87.1	2,833	54.3
50歳～59歳	10,112	6,988	69.1	2,736	27.1
40歳～49歳	9,854	4,765	48.4	2,070	21.0
30歳～39歳	7,421	1,721	23.2	1,384	18.6
20歳～29歳	6,510	1,784	27.4	1,343	20.6
12歳～19歳	5,426	237	4.4	134	2.5

9月時点での豊岡市の接種状況

今後広域化が考えられる分野は？

問 今後、財政や人口減少の面からも広域化を進めて行く必要があると思うがどうか

答 人口減少の深刻化や災害の大規模化、そしてデジタル化、価値観の変化、多様化等いろいろな社会潮流に対応する一つの手段として、まちづくり等に広域的に取り組むことは必要。また、事務の効率化や資源、専門人材の共同活用の観点で既に広域化や自治体連携を行っているものもあり、今後も他の自治体と連携する取り組みを行う必要性を、各分野で研究していきたい。

問 現場の声を聞き、対応する体制はどうか

答 市が主体となって広域化を検討する際は、関連する団体や市民に現状と課題等を説明し、意見を踏まえて進める。ただ、広域連携の仕組みは連携協約、協議会、機関等の共同設置、事務の委託、事務の代替執行、一部事務組合、広域連合等さまざまある。住民サービスに大きな影響を与えるものと、それほど市民生活に関わりがないものもあり、意見を聞く範囲や方法等については、状況に応じて考える。

問 医療について、改めて連携を強化するためにも実のある意見交換の場が必要だと思うがどうか

答 但馬全域では今、二次医療圏という定義がある。公立豊岡病院を中心という考え方が、豊岡市および朝来市は強いが、八鹿病院や村岡病院もある。しかし横連携はほとんどない状況も強く感じる。但馬として情報的に一元化し、各住民の利便性を図ることを考えていく必要が十分にある。

1市5町による広域合併から16年

清水　寛 議員
市民とよおか

議員のひとこと
地域課題について意見交換し、広域化や連携を考えるべき時は今だと思う。

本市のワクチン接種終了時期は

答 9月20日予約受付開始し11月末完了予定

問 新型コロナの感染増加に伴う軽症者への治療や症状悪化に対する連絡体制、自宅療養されている方への生活支援は

答 自宅療養期間中の健康観察として、電話で症状を聞き取る健康観察を実施されている。自宅療養中に悪化した場合は、公立病院と調整し逼迫する状況であれば救急搬送される。生活支援については食料品、消毒薬、マスク等の衛生材料に加えパルスオキシメーターが配布されている。

問 妊婦へのワクチン接種が優先となったが、配偶者への接種はどうか

答 配偶者やパートナーの方も予約は可能な状況となっている。

議員のひとこと
3回目のワクチンも無料で接種を。

安全を守るまちづくり

問 防災マップの更新状況と全世帯配布時期は

答 新たな浸水想定や土砂災害警戒区域を示した防災マップは試作版が完成し、修正箇所を確認の上、来年5月下旬をめどに全世帯配布予定。

問 土砂災害特別警戒区域に対する対策として具体的な取り組み内容は

答 但馬地域社会基盤整備プログラムに基づき、県より対策工事を進めている。市では住宅の除却または、移転に係る費用の一部について補助する制度を設けている。

障害者支援

問 福祉タクシー・バス共通利用券の利用拡大は、柔軟性のある運用を図るべきだがどうか

答 本制度の運用に際して、これまで視覚障害者協会から助成額の拡大について要望をいただいている。今後利用者の意識調査等を行い、利用率の向上に向けた制度の見直しを検討する。

防災マップは来年５月下旬配布予定

芦田　竹彦 議員
豊岡市議会公明党

このページは質問者の責任において作成したものです。

写真下の**二次元バーコード**で
質問の録画映像をご覧いただけます

教育予算の拡充はどうなのか？

田中藤一郎 議員
市民とよおか

答 今後は、補填していく形をとっていきたい

子どもたちの学校教育環境

問 教育委員会は決められた予算の中で何とかやりくりをしているが、関貫市長は、子育て、教育にも力を入れるとあるが、教育予算の拡充についてどのように考えているのか

答 他市がやっていることを豊岡ができてないという現実があるが、今後は、それらを補填していく形をとっていきたい。

議員のひとこと
子育て支援・教育は次世代にとっても重要な施策。しっかりとお願いしたい。

各地域への福祉行政の取り組み

問 各地域ではますます必要とする福祉行政で、前市長の方針では、各地域での福祉はある一定の役割は終えたということだが本当にそうなのか

答 豊岡以外の建物については、除却ありきという事ではなく建物の有効活用のため、複合化の検討や有効な活用策の議論をすすめようとしている。

各地域の福祉はますます重要となる！

地場産業への施策のあり方と支援策

問 地場産業で、今苦しんでいるのが鞄産業だが、市にとって経済的な役割はかなりあるが、これまでとは違った支援のあり方、成長戦略を考えられないのか

答 鞄産業は伝統産業でもあり、市にとって基盤産業でもある。これまでも応援をしてきたが、今後は成長戦略を描く中で、やはり重要な産業として考えていきたい。

議員のひとこと
福祉・福祉事業をしっかりする上でも施設は重要な役割。万が一の無いように見守りたい。

旧いずたや買収は大失策だ

足田　仁司 議員
ひかり

答 大変申し訳なく思っている

問 旧いずたやの買収は大失策ではないのか

答 精査しながらやってきたが、予想外の金額を使ってしまったことと完成が遅れてしまった。大変申し訳ないと思っている。

問 候補地選定に当たっては、大開通り空き店舗調査を実施すると議会説明があったが、調査検討した記録はあるのか

答 調査結果書とか、そういうものは見たことがない。

問 旧いずたやの土地の鑑定結果は4千万円余り、固定資産税の課税標準額は2千万円弱。違いは当時確認したのか、2千万円の土地を4千万円で買っているのはおかしくないのか

答 鑑定の結果であり正当なものだと考える。

問 豊岡市の職員が市街地は軟弱地盤であることを知らない訳がない。なぜ買収前に調査しなかったのか。このために2千万円で買った建物を7千万円以上かけて解体することになった

答 買収前は目視で検査を行った。買収後、精密機器による調査で不同沈下が発見された。

30万円／㎡の高級空き地ができました

道徳教育とLGBT

問 今年、5・6月にLGBT理解増進法案が自民党内の一部議員の猛反対により国会提出が断念された。ジェンダーギャップの解消に取り組む豊岡市への影響は

答 市民意識調査では、家父長制度などの名残や慣習、しきたりにも影響されている結果が出ている。

問 教育勅語と道徳教育はどこが違うのか

答 戦前の修身という授業の教科書だ。愛国主義・軍国主義に進むような11の価値項目があった。道徳の内容は変遷するが、良心的な判断ができると思っている。

自宅建築が1・5倍に！どうする

答 1・5倍になれば財源も含めて検討する

アイティ4階子育て支援総合拠点等整備

問 当初予算に比べ7500万円も超過。大変ずさんな工事費算定はどこに問題があったのか。縦割り行政の問題か。組織の課題も含めて尋ねる

答 実施設計を行う中で新設、再整備を必要とする工事が多く発生し予算額と大きな乖離（かいり）を生じた。当初の想定が甘かった。縦割り行政に大きな影響があったと感じている。市政運営の一部であるが、全体のことを考えると大変危惧する内容である。

改修が進むアイティ4階

問 アイティ豊岡都市開発の土地の評価が変われば債務超過となる。市の劣後債を使おうとしても使えないことになるがどうか

答 都市開発の決算書の中身については再度精査をさせていただきたい。

コロナ禍での業者支援の在り方

問 組合化、組織化されていない企業、業種、零細事業者への支援の在り方はどうか。旅行取扱業者へは支援の手が差し伸べられていないがどうか

答 組合化等が支援の検討に影響ない。行政、公が支援する十分な理由があるかどうかだ。今後も状況を踏まえ市として行える必要な支援策を検討する。旅行業者については県の補助内容を踏まえ検討中。

水道料金値上げ

問 水道料、下水道料値上げの方向性はどうか

答 水道料金は値上げが必要、下水道使用料は据え置きの方向で進んでいる。中核工業団地の特別料金は経済成長維持のために必要な施策だ。

福田　嗣久 議員
市民とよおか

議員のひとこと
本当に困っているところにしっかりと光をあてるのが市政推進の要だ!

新文化会館整備促進の方向性は

答 健康福祉センターの件は別の事柄と認識した

新文化会館整備の促進

問 文化協会からの要望に対する市長の見解は。整備内容の精査・検討中とあるが、どの組織が具体的に何を行っているのか。予算が0円だが、検討などの予算補正を早急に行うべきではないか

答 文化協会と意見交換したが、共感する点は大変多くあり、年内には方向性を出したい。また、市長の責任として、今は組織を動かすための材料の取りまとめの状況で、予算0円は異常な状態ではあるが、必要となれば補正の手続きを行う。

新文化会館整備と健康福祉センター存廃には真摯な対応を！

自主財源確保の強化

問 ふるさと納税が好調で、2年度は約8億6400万円の寄附金が寄せられた。市長選挙で「演劇のまちはいらない」が論点となったが、寄附金拡大の新施策として、4月の専門職大学開学を契機とした「若者に夢のあるまちづくり」を全国に発信できないか

答 寄附金使途の「深さを持った演劇のまちづくり」は、対外的に認知されており、変更しない。議員提案の内容を付け加えることを考えるので、少し待ってほしい。

安全・安心施策の推進

問 ホテルへの個別避難の新施策で、妊婦の方への対応はできないか

答 対象者の拡充は、コロナ対策の視点を踏まえて、要件を検討したい。

問 農業災害復旧は、復旧まで期間と地元負担が生じるが、水稲栽培期間中など即座に復旧が必要な場合は、多面的機能支払交付金事業が適用できると思うがどうか

答 用水路や農道などの農業施設が被災した場合は、公共的要素が高いため、当事業を適用して復旧することは可能である。

浅田　徹 議員
豊義会

このページは質問者の責任において作成したものです。

写真下の**二次元バーコード**で
質問の録画映像をご覧いただけます

加陽地区の内水被害発生状況は

岡本　昭治 議員
豊義会

答 2年に一度以上の高い頻度で発生している

問 加陽地区で、近年どれくらいの頻度で内水被害が発生しているか

答 住家等への内水の発生頻度は、過去5年間を見ると、2017年、台風18号および21号、2018年7月豪雨、それから今年の8月の前線に伴う大雨の4回、5年のうち3年発生していることから、2年に一度以上の高い頻度で住家等への内水被害が発生している。

問 内水被害対策を実施するかしないか判断する場合、被害の大きさや被害発生頻度など、豊岡市として判断基準があるか

答 具体的な判断基準はない。今後も地区要望の内容などから地域の現状をしっかりと調査、把握し、全市的な優先度を考慮した上で必要な対策を進めていきたい。

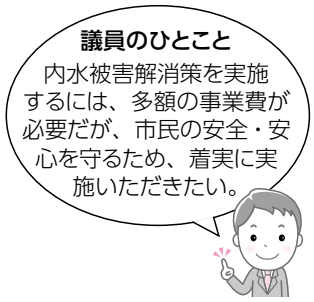
問 豊岡市における内水被害の解消へ向けた整備目標、または整備計画が存在するのか

答 豊岡市における内水被害の解消に向けた具体的な整備目標や整備計画はない。

問 加陽地区において、緊急自然災害防止対策事業債を積極的に活用し、内水被害の解消に向けて検討を開始いただきたいと思うがどうか

答 加陽地区については、地区要望にて大雨時冠水箇所の市道かさ上げの要望もいただいていることから、災害時の避難経路、孤立の可能性、生活道路としての利用状況などの社会的影響度も勘案し、全市的な優先度を考慮した上で、緊急自然災害防止対策事業債を活用した市道かさ上げ整備の必要性も含め、今後検討を進めたい。

令和3年8月・加陽地区の浸水状況



大規模農家ほど暴落の影響が大！

村岡　峰男 議員
日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団

答 豊岡市だけの下落ではない

問 稲刈りの最盛期を迎えているが、今年の稲刈りは心から喜べない。JAから「概算払い価格」が示されているが大幅な下落である。下落というより暴落だ。原因は何か。コメの生産原価を大幅に割り込む価格である。作れば作るほど赤字となる。農業は、国土を維持し、地域を維持し、災害防止の産業であり、国民の命を維持する食糧生産産業である。これらの特性を考えれば支援の検討が必要ではないか

答 コロナの影響で外食産業のコメ消費が減少し、民間在庫が増加したことで米価の下落が報道されている。経営所得安定対策や収入保険制度への加入を勧めている。

問 コロナの影響で米価が下がったというなら、他の産業と同じような支援をすべきではないか

答 豊岡市だけの下落ではない。国や県の施策を注視したい。

全ての市民に公平な公共交通施策を実現しよう

問 神鍋線での200円バスの現状はどうか。京丹後市や宍粟市では市全域で200円バスが運行されている。同じ市民でありながら日高は200円バスがあり、但東では、豊岡病院まで往復2500円だが、不公平ではないか

答 神鍋線は、目標に対し大変厳しい実績であり次年度以降の取り組みについて検討中。全市域に広げる費用対効果は認められず考えていない。

問 費用対効果が認められないという効果とは何か

答 実証実験で目標を定めており、その目標に近い数字が出ることだ。

収穫は終わったが、暴落で喜べないよ！

写真下の**二次元バーコード**で
質問の録画映像をご覧いただけます

豊岡健康福祉センターの今後？

答 **年内には当面の方向性を出し、判断する**

問 現時点での市の方向性は、設置管理条例を廃止し、豊岡健康福祉センターについては、有利な起債が活用できるように、現市民会館と併せて除却することが望ましいとなっている。今年中に最終的な判断をするとのことだがどうか

答 有利な起債を活用し、現市民会館と同時除却し、新文化会館の関連施設用地として活用することが、市の財政運営上は最適な方向だと考えている。今後、さらにさまざまな観点から検討を重ね、最終的な判断をしなければならないが、まだ、時間を要することになる。年内には、当面の方向性と、従前どおり使用するかどうかや、指定管理期間の延長など、これらを併せて判断したいと考えている。

豊岡健康福祉センターは、今後どうなるのか？

問 健康福祉センターと文化会館は、文教民生委員会の所管になっている。判断を12月末といわれるが、9月中にできることはないか

答 健康福祉センターに関しては、入居団体の方がたくさん居られるのが事実。そういった方々の行為、行動を止めるわけにはいかない。団体の方々から話を伺って、今、納得ができたところである。その内容に即して計画を立てる。それを9月中と言われてもできない。

問 新文化会館のことはどうか

答 健康福祉センターの除却、今回の存廃部分と新文化会館の建設そのものは関連していない。別の問題。ただ、最終的にそのように解体をして跡地活用をすれば、市の財政上は有利だ。ただし、事業の進捗はそれぞれ別で議論願いたい。

議員のひとこと
新文化会館の実施設計費等の予算棚上げは、どうなる？

上田　倫久 議員
豊義会

村を育てる教育とは

答 **村を捨てない教育です**

問 どの子も子どもは星 みんなそれぞれがそれぞれの光をいだいてまばたきしている ぼくの光を見てくださいとまばたきしている わたしの光も見てくださいとまばたきしている 光を見てやろう まばたきに 応えてやろう 光を見てもらえないと子どもの星は光を消す まばたきをやめる まばたきをやめてしまおうとしはじめている星はいないか 光を消してしまおうとしている星はいないか 光を見てやろう まばたきに応えてやろう（東井義雄先生の詩より）学校の統合について

天いっぱいに子どもの星をかがやかせよう
（東井義雄追悼文集より）

答 東井先生の教育は一生懸命努力する子どもたちが生かされる教育を目指している。そのために子どもの値打ちとか良さを大人が見つけてやり、子ども同士が大切にする教育にあった。但東地区では学校や子どもそして地域の在り様を一緒に考えながらも根幹には東井教育を位置づけるのはいいと思う。通信簿を相対評価から絶対評価に日本で初めて変えられたのは東井先生である。それらは但東町の中で生まれ、この自然環境の中で実践された。東井先生が目指されたものを脈々と継いでいくことは大切なことである。

議員のひとこと
市民の光を見てまばたきに応えられるように。

椿野　仁司 議員
豊義会

このページは質問者の責任において作成したものです。

写真下の**二次元バーコード**で
質問の録画映像をご覧いただけます

「主人公は市民」とは

奥村　忠俊 議員
日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団

答 行政サービスを受ける目線で物事を行う

問 「主人公は市民」であることを承知していただき、町の人たちがどう考えているかを最大限酌み結論を出していただきたい

答 合併後の最大の問題だと感じている。各地区で元気が後退したり無くなっていったら困る。言われたことを踏まえ考えていきたい。

問 「主人公は市民」であることを承知していただき、町の人たちがどう考えているかを最大限酌み結論を出していただきたい

答 大学の講堂兼劇場の名称に使用されたのは、観光もアートも平和があってこそ実現できることを、学生たちに意識してもらいたいとの考えからと聞いている。

豊岡から平和のメッセージが発信され、斎藤隆夫さんという偉大な人物をより多くの人に知ってもらえることを嬉しく思っている。

斎藤隆夫「静思堂」

専門職大講堂名が『静思堂シアター』に

問 専門職大学の講堂兼劇場の名称を学長の平田オリザ氏が「静思堂シアター」に決定したことが報じられた。

これは、戦中の粛軍演説で知られる出石出身の政治家斎藤隆夫を顕彰する記念館の名称『静思堂』からとられたものだ。市長の受け止めについてたずねる

答 大学の講堂兼劇場の名称に使用されたのは、観光もアートも平和があってこそ実現できることを、学生たちに意識してもらいたいとの考えからと聞いている。

豊岡から平和のメッセージが発信され、斎藤隆夫さんという偉大な人物をより多くの人に知ってもらえることを嬉しく思っている。

「ひぼこ」に代わる施設は

問 出石の「ひぼこホール」は無くなったが、文化活動ができる施設が必要との声が大きい

答 その声は多く、地域デザイン懇談会の中でまとめられたプランが、できる限り可能な範囲で形にできるよう取り組んでいきたい。

議員のひとこと
出石にはコーラスや演劇などのグループが多くあり、町の活性化につながっていた。出石地域に発表ができる施設をぜひ作ってもらいたい。出石の願いです。

地域に先駆け連携し自治体ＤＸを

竹中　理 議員
豊岡市議会公明党

※デジタル・トランスフォーメーション…デジタル技術でより良い生活へ変革すること

答 福祉モビリティなどの分野で開始している

問 市全体として、デジタル・トランスフォーメーション※を進めて、市民サービスの向上、福祉の充実および産業構造の変革など取り組むべきであるが、ロードマップのような全体計画の策定が必要。市政経営方針との整合性もあるが、今後の市の展望についてはどうか

答 市民や市内業者とともに取り組む必要がある。既にスマートコミュニティ推進機構において、福祉モビリティなどの分野で取り組みを始めている。一方、市民サービス向上の観点から、市役所の利便性向上などの取り組みが進んでいないと感じており、業務の抜本的な見直しやデジタル技術の活用を市民や事業者と共創する計画を策定したい。

中期市政経営方針の策定に当たっては「主人公は市民」の考えのもと、とりわけデジタル・トランスフォーメーションを推進し、市民サービスの向上を図っていくことを盛り込んでいきたい。そして、中期市政経営方針との整合性も図っていく。

行政との共通理解のためにパネルを利用

議員のひとこと
デジタル庁の創設で行政にもデジタル化が求められている。市民サービスの向上に努めてほしい。

受験生の優先接種

問 高校受験を控えている中学校３年生、また、中学受験を控えている一部の小学校６年生に対して、コロナ禍において、安心して自分の目標に向かえるようにワクチン接種の優先枠の確保をお願いしたいがどうか

答 市では８月31日から39歳以下の予約を可能とし、11月末に希望するすべての方全員の接種を終了予定。ワクチン供給が限られる中、特に優先枠は設けることは考えていない。（高校３年生は優先接種あり）

陳情

陳情 第1号（6月定例会継続審査）

健康福祉センターと条例に関する陳情書

審議結果 趣旨採択（賛成12名、反対10名）

提出者 豊岡市健康福祉センターを守る会
代表 吉岡 賢治

（要旨）

1 豊岡市健康福祉センター条例を廃止せず充実する。

2 豊岡健康福祉センター（通称・福祉会館）を廃止せず福祉の拠点として充実する。

趣旨採択に対する反対討論（3名）

▼委員長報告では、福祉活動の拠点として充実してほしいという事に、理解が示されている。また趣旨採択は、あいまいであり、今後乱発される恐れがあり、豊岡市議会には、なじまないと考えている。

健康福祉センター条例の廃止については、福祉センターの解体除去につながることを懸念されると陳情者は訴えている。今後も障害者の拠点となる、福祉センターは必ず必要であると考える。

▼陳情の趣旨の一つである、「豊岡市立健康福祉センターの設置及び管理に関する条例について条例を廃止せず充実すること」については、例えば、ワンストップでの子育て相談体制や引きこもり対策などを担当する行政機能を施設の中に付加することによって、健康福祉センターの充実につながると考えられる。

▼障害者作業所、また運営者や利用者の悲痛な叫びの陳情である。委員長報告は、趣旨は理解できるが、当局が実現性は不可能だということを言っているが、実現が不可能かどうか、それは当局の見解であって、議会としてはまず陳情者、市民の声に耳を傾けることが大切である。

趣旨採択に対する賛成討論（2名）

▼豊岡健康福祉センター条例ならびに豊岡健康福祉センターの廃止には、もう少し議論を詰めていく必要があり、早急に判断することは適当ではない。

現時点での市の方向性としては、設置管理条例を廃止し、豊岡健康福祉センターの除却には、有利な起債が活用できるよう、現市民会館と併せて除去することが望ましいという説明を受けている。

▼陳情者の願意である「豊岡健康福祉センターの機能を廃止せず、福祉活動の拠点として充実してほしい」という趣旨については理解するが、条例を廃止しないこと、豊岡健康福祉センターの現施設の存続は、担当部署の説明ならびに市長答弁から実現性において議会としては確信が持てないことから「趣旨採択」とすべきである。

陳情 第3号

豊岡市立弘道小学校の学級編制に係る陳情書

提出者 弘道小学校ＰＴＡ会長 濟 真樹

文教民生委員会審査結果 継続審査

（要旨）

弘道小学校では、近年の少子化の影響を受け児童数が減少し、1学年1学級の学年が増えいる。

現在は、兵庫県教育委員会で実施している新学習システムの35人学級編制により、3年生と4年生については、2学級で学習しているが、5年生については、1学級満杯の40人で学習する状態となっているため、子どもたち一人一人の確かな学びの保障が難しく、また、担任の先生の負担が増大している状況にある。加えて、教室が密状態になっているため、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、子どもたちの健康安全が確保できるかなど、ＰＴＡ会員から不安の声が集まってきている。

ついては、新型コロナウイルスの終息が見えないことも鑑み、学年36人以上の場合、5年生・6年生時も、2学級編制をお願いしたい。

（陳情内容）

5年・6年生時に、2学級となる編制をお願いしたい。実現が難しい場合は、指導者を増員し指導・支援体制の拡充をお願いする。

【審査結果理由】

当局からの説明にもあるように、国県の方針に基づいての施策であり今後にも影響を及ぼす。色々研究し、しっかり議論をしたうえで判断すべきである。

採決の結果、賛成多数により動議は可決した。

その後どうなった?!

6月定例会の委員会審査における委員会意見と回答

住民自治運営に係る実態調査

実施に当たっては、県のアンケート調査項目に加え、小学校統廃合後の利活用など、地域活性化のための要望等を項目に入れて問題点を抽出し、その解決に尽力されたい。 **（予算決算委員会）**

実態調査は、集落機能の低下に対し、持続可能な住民自治運営を検討するための調査であり、小学校統廃合の利活用に限った設問は設けていないが、地域コミュニティに関して行政に改善を求めることや市の施策についての考えを尋ねる項目を設けた。 **（コミュニティ政策課）**

生活困窮者自立支援金

支給対象者を約60世帯と想定しているが、コロナ禍の中で、生活困窮者はまだ多くいると思われるので、こうした制度の恩恵からもれてしまう困窮者がいないよう、従来にも増して把握に努められるよう要望する。 **（予算決算委員会）**

支給対象者の前提要件となる社会福祉協議会の総合支援資金の特例貸付を利用できない世帯情報を兵庫県社会福祉協議会から提供を受けることで支給対象者を把握し、漏れがないよう努めている。 **（社会福祉課）**

学校給食センター調理等業務の民間委託

分割発注も含め、地元事業者が受注できるような方法の検討を要望する。 **（予算決算委員会）**

6月25日開催の豊岡市学校給食調理等業務契約候補者選定委員会において検討し、行財政改革の効果のため一括発注とするが、プロポーザルへの参加資格には学校給食業務の実績は不問とし、地元事業者も参加しやすいようにした。 **（教育総務課）**

建設経済委員会

7月14日

東播建設労働組合但馬支部との懇談会

東播建設労働組合但馬支部は、豊岡市を中心として1123名の大工や左官等の職人を中心とした個人加盟の団体である。

設立当初より「地域に根差した活動で仲間の命と暮らしを守る」をモットーに、修繕ボランティア活動、親子大工教室の企画、仲間の健康診断事業、公契約条例制定への呼びかけ等に取り組んでおられる。

意見交換の中で、地域社会での住環境の変化による建設坪単価の問題、賃金の上昇を求めにくい環境が続いており、背景にはハウスメーカー、ローコスト住宅との競合で本来の住宅づくりができないという問題がある。結果として後継者育成や技術の継承、職人としての誇り・モチベーションアップが大変難しい状況が続いている。そこには若年労働人口の減少、また職人仕事の敬遠など全国的な難しい課題が横たわっている。

意見交換を通して、職人さん方の現況を垣間見ることができ、地域の職業のあり方などについても考えさせられる有意義な懇談会となった。

文教民生委員会

7月26日

日高ネットワーク会議との懇談会

地域共生社会を目指した地域包括ケアシステム構築のため、市が日高地域をモデル地域として始めた際に、社会福祉協議会の声かけにより発足し、活動しておられる日高ネットワーク会議のメンバー5名と懇談した。

【現状と課題】

①豊岡市は他市と比べ、障害分野の相談支援専門員の数が不足している。そのため一人当たりの担当件数が多い。

②報酬が低く相談員の在職が長続きしない。

③市域が広範なため移動に時間がかかる。

④相談支援専門員が受診同行する場合、報酬がない。

⑤障害者の入所施設が少ない。

⑥障害者が65歳になった時、スムーズにサービス移行ができない。

⑦社会参画を目指し自立を図りたいが、さまざまな課題がある。

特に2025年問題では施設数の不足が予想されるので、行政、民間、地域それぞれの立場で何ができるのかを検討すること、人員不足の原因を明らかにすることなどが重要だと感じた。

委員会として多くの問題点を認識し、解決に向け共に努力していきたい。

総務委員会

8月3日

イーブンネットたじまとの懇談会

「男女共同参画・ジェンダーギャップの解消」分野に関して、「イーブンネットたじま」のメンバー6名との懇談会を実施。

この会は、約20年前から形式にとらわれずに、社会の中で男女ともに心地よい関係性を作ることを目的に設立された。講演会の実施やセミナー、ワークショップ、市のシンポジウムをはじめ、ひとり親応援事業など、地道にまた堅実に活動を続けられている。

大切なことは、ギャップを当たり前と思い、気づくこと。そして動くこと。家族でも地域でも気づきが大切。まずは家庭の中からの気づきを始めてみてはどうかとのこと。

ジェンダーギャップも偏見のひとつ。今ではLGBTQ、障害者、不登校なども受け入れる多様性の重要性も話していただいた。

委員会としても、今回の懇談を活かし、本市のジェンダーギャップ解消の取り組みを推進し「お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている」まちづくりを進めていきたい。

視察報告

人口減少対策等調査特別委員会　7月19日

地域おこし協力隊の活動と今後の課題について

（視察先）安倍商会、たくみ工芸、永澤兄弟製陶所、虹洋陶苑

今回、出石地域での地域おこし協力隊の活動状況と、今後より一層活動をすすめていくための課題について意見交換を行った。

人口減少が課題となる中で、今回の協力隊の皆さんは今後も出石地域に住み生計を立てて行きたいと考えている方々であった。その中でやはり課題となるのは、今後どのようにして生活していくのかが重要なポイント。そして、どのようにして活動期間中の3年間に道筋を立てるかの難しさがある。ただ、そのような状況であるが、協力隊の皆さんには多くの可能性もあると言える。それは、伝統的工芸品の再構築と創造により、実は、産業としても非常に魅力があり、未来がそこにはあるということだ。

市としてはこの宝を3年間の活動後、どのようにして育て支援をするかがとても重要なことであり、協力隊の意義と受け入れの大切さを改めて感じられた視察となった。

防災対策調査特別委員会　7月27日

防災施設を視察Ⅱ

前回3月の視察に続いて今回は、竹野・城崎・日高地域の防災関連（施設）の視察を行った。

最初は、竹野濱須井の須井川河川堤防嵩上げ工事の視察を行った。この堤防は、津波による浸水被害を軽減し、高潮などにも効果がある。

次に、竹野浜防潮堤新設計画予定地、瀬戸・津居山地区下流部無堤対策工事予定地、気比川河川堤防嵩上げ工事の現地説明を受けた。いずれも津波と高潮対策の施設だ。

次に、円山川沿いの城崎来日ひのそ他地区浸水対策工事現場で事業の進捗等の説明を受けた。

その後、豊岡土渕の中郷遊水地整備工事現場を視察。完成すると270万立米の洪水調節効果が期待できる。続いて、日高鶴岡、日置の上流部無堤対策工事現場を視察。この計画は、小さな集落を囲い込む形の堤防で家屋浸水を防ぐもの。次に、日高江原の日高地区稲葉川合流部無堤対策工事予定地を見て視察を終えた。

豊岡市の水害に対する守りは十分なのか、判断は難しいが、限界があることも頭の隅に置いて有事に備えたい。

総務委員会　7月29日

消防、コミュニティ組織の取り組みについて

（視察先）

①市街地火災（本年1月）中央町での被害状況（死者1名、焼損6棟）及び消火活動の説明

②弘道・竹野南コミュニティ活動の現状と課題

③消防本部城崎分署のブーム付多目的消防ポンプ自動車の見学

高機能な車両も凄いが消防署員の機敏な行動に感銘を受けた。

弘道地区コミュニティセンターは、地域づくりの課題や地区の将来像を細かく分け目指すべき方向性を掲げている。まちづくり部、安心づくり部等を作り、地域の魅力を集めたマップの作成、芸能祭、町民運動会等を企画。コミュニティだよりを毎月発行し、参加しやすい工夫がなされている。

竹野南地区コミュニティセンターは、NPO法人「わいわいみ・な・み」を令和元年に設立し、地域の良さを生かすアイデア18のプロジェクト案を作り、人が集まるプロジェクト等地域をあげて取り組んでいる。

委員会としても、地区コミュニティセンターの地域づくりの取り組みを応援していきたい。

五荘小学校金管バンドの演奏

地方自治に貢献された議員に表彰状が贈られました

兵庫県自治功労
福田　嗣久 議員

12月定例会の日程（予定）

開　　会	12月３日（金）
一般質問	12月13日（月）～16日（木）
常任委員会審査 （総務・文教民生・建設経済）	12月17日（金）9:30～
常任委員会審査（予算決算）	12月16日（木）※1・23日（木）※2
特別委員会審査	12月23日（木）9:30～
閉　　会	12月27日（月）

※1　一般質問終了後に開催
※2　13時～
・本会議は9時30分から市の議場で開催します。
【傍聴について】　新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止の観点から、極力、豊岡市議会インターネット中継をご利用ください。パソコン、スマートフォンから審議のようすを生中継でご覧いただけます。

■問合せ／豊岡市議会事務局　TEL0796-23-1119

議会広報広聴特別委員会

一年間ありがとうございました

編集後記

▼市民の皆さまが議会に関心を持っていただく方法のひとつが、より良い「議会だより」を作ることだと思っています。▼そのため、議会で議論している内容を正しくお伝えすることが基本となると考えますが、市民の皆さまにとって見やすい「議会だより」とすることが必要だと思っています。　その意味で、議員一人ひとりがまとめた原稿を、議会広報広聴特別委員会の８名の委員および議会事務局担当者による、約１か月間、３回以上にわたる校正作業を行った結果、皆さまにお渡しする「議会だより」となっていきます。▼この一年間、議会広報広聴特別委員会としての役割が十分に果たせたかどうか不明ではありますが、今後、より一層研鑽（けんさん）を重ね、より良い「議会だより」を作成していきたいと考えますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

（おかもと　しょうじ）